

Q & A



「テーマのある旅」の特徴は、普通の観光旅行では行かないところを訪れたり、視察できたりというのがまず一番。そして参加者のほとんどが、ひとり参加の大学生と院生&時には大学の先生もツアーメイトとして加わります。まさに大学時代だからこそ体験できる、思い出に残る旅です。

Q 参加資格はありますか？

A 組合員の方でしたらどのコースでも参加いただけます。

どのコースでも専攻学部に関係なくご参加いただけます。スタディーツアーでは参考図書が案内されるため、何冊かは目を通しておかれると良いでしょう。



Q 過去のツアーを知りたい、どのようなツアーがありましたか？

A ホームページをチェックしてみましょう。

テーマのある旅は、普通の観光では体験できないような、ピーススタディや視察スタディツアー、ボランティアツアー、異文化交流など、様々。参加すればきっと価値観が変わり、自分の知らない自分に会えます。まずはホームページでコースを見てみましょう！

テーマのある旅ホームページ
<https://manabi.univcoop.or.jp/trip/theme/>



Q わからないことがいろいろあるのですが？

A 交流会・説明会 まずは生協カウンターへ！

キャンパスの生協旅行カウンターに相談してみましょう。「テーマのある旅」では、参加を検討している方を対象に、オンライン相談会を実施しています。2024年春発コースは、11月頃にオンライン相談会を行う予定ですので楽しみに。

Q 1人参加ですが食事が心配です。

A みんなで食べに行きましょう！

地元のレストランにツアーメイトを誘ってみんなで食べましょう！（よほど高級レストランでなければシェアしながら食べるのも楽しいですね。）現地の方に聞くという教えてくれますよ。地元のスーパーに買出しに出かけホテルの部屋に集まって…という話も聞きます。

Q 1人参加なのでみんなと仲良くなれるか心配です。

A 9割近くの方が1人参加＆「相部屋」希望です。

共通の関心があるから会話も広がる！テーマに関連した知識を増やして共通項を広げましょう。ひとりでも参加できるのが「テーマのある旅」の良さです。相部屋希望の場合は相部屋確定期日前までの申込がおすすめです。

Q 夏のコースでキャンセル待ちと言われました。いつまでに申し込み始め間に合いますか？

A 定員があり先着順に受け付けています。

「テーマのある旅」は先着順。毎回出発の60日以上前に満席になるコースもあります。また視察内容の関係上最大定員を設けているコースもあります。夏は混み合いますのでどうしても参加したいコースがある場合は早目の申込をお勧めいたします。（早期学割、相部屋保証を受付しているコースが多いです。）

CO-OP
海外の旅

2024 春

10月下旬発売開始予定

2024.
2月～3月出発

テーマのある旅

現地にしかない“本物”から学ぶ刺激的なツアー

ヨーロッパ・ピーススタディツアー
ホロコーストの歴史と記憶から学び考える



ドイツ自然エネルギー政策とまちづくり視察研修
ドイツ在住環境ジャーナリストが現地解説！



フィンランド教育関係視察研修
多様性の尊重と世界一の教育制度を学ぶ



モンゴル大自然・異文化交流ツアー
異文化に五感で触れる旅



「何もなくて豊かな島」フィリピン・カオハガン島
自然と共にある暮らしから学ぶ旅



全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター
URL <http://travel.univcoop.or.jp/>

そのほかにもおすすめの国内・海外旅行は
URL <https://manabi.univcoop.or.jp/trip/>

「地球にやさしい旅人宣言」 旅行業公正取引協議会 会員
自然や文化遺産を大切に

UCT
観光庁長官登録旅行業第1642号
UNIVERSITY CO-OP TOURISM
全国大学生生活協同組合連合会 旅行センター
東京都杉並区和田3-30-22 大学生協会館4階
(社) 日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員

ツアーの詳細はコチラ



24時間日本語で安心ダイヤルサポート!



「あんサポ24」と連携した 海外旅行保険がセット



2024 春

10月下旬発売開始予定

テーマのある旅 コースラインナップ

ヨーロッパ・ピーススタディツアー



アウシュヴィッツ収容所への道(イメージ)



科学技術、医学、芸術、法律、信仰…すべてが間違った方向にねじまげられた悲劇的結果が、ここほど雄弁に平和の切実さを語りかけてくる場所はありません。この場所に立ってみると、きっと皆さんの価値観がゆさぶられることでしょう。“人間を知る”、“世界を知る”旅と一緒に出かけましょう!

フィンランド教育関係視察研修



就学前教育(イメージ)



タンペレ図書館

OECD(経済協力開発機構)の実施した国際的な学習到達度調査(PISA)で、毎年上位にランキングされるフィンランド。でもフィンランド教育の本質はそれだけではありません。フィンランドの教育の特徴のひとつが「落ちこぼれ」をつくらないことであり、18歳までに社会生活ができる人間として自立させることが目標だといえます。子どもの発達に応じた教育が、保護者の経済状況に関わらず平等に保障されている社会システムとその背景にあるものを、実際の教育施設の訪問を通して学んでいきます。

ドイツ自然エネルギー政策とまちづくり視察研修



カールスルーエのLRT

ドイツの「環境首都」として名高いフライブルクを中心に持続可能な地域社会について、エネルギー、交通政策、まちづくりといった視点から学びます。様々な視察先をドイツ在住の環境ジャーナリストの解説を受けながら共通の問題意識を持つ参加者(大学生)と巡ることで、単なる視察に終わらず日本を振り返り、視野を広げ、お互いの考えを深めることができるでしょう。



モンゴル大自然異文化交流ツアー



星空の下のゲル(イメージ)

顔はそっくりでも、農耕文化を引き継ぐ日本とモンゴルの遊牧文化は真逆のことがたくさん。実際に行って、体験して、交流して、その価値観に気づけるでしょう。ツアーでは、ゲルでの宿泊体験をはじめ、現地の大学生との交流をしたり、日本人抑留者の歴史を伝える「SAKURA博物館」などを訪れて、教科書ではほとんど取り上げられない歴史・文化も学んでいきます。

「何もなくて豊かな島」フィリピン・カオハガン島



カオハガン島

フィリピン共和国の中央部、セブ島から小舟に乗ってほぼ1時間、東京ドームと同じ広さの小さな島。歩いて1周30分のこの小さな島に約700人の島民が暮らしています。豊かな海洋の自然に包まれて、その恵みをいただき、ゆったりとした時間に身を任せながら、その日を満ち足りて暮らす。モノがあふれ、日々せわしく過ぎる日本での暮らしから出て、新しい世界を少しだけ覗いてみませんか?自然との向き合い方、島民との交流のなかで知る愛の本質。きっとあなたの心の中に「何か」が残るスタディーツアーです。

参加者からのメッセージ

参加者アンケートより

ツアーに参加することを迷っていたのであれば、ぜひ参加すべきだと思います。日本とは全く違う文化に触れつつ、充実した日々が過ごせます。すぐにみんなと仲良くなれます。不安を感じる必要はありません。ぜひぜひ参加して、自分の糧にしてほしいです。
★名古屋学芸大学3年 I.N.さん

1人で参加している人が多いため、すぐにツアーメイトとも仲良くなることができました。私自身初めての海外、且つ初めての飛行機だったので、空港内の検査の仕方から海外の生活のことまで不安で一杯でしたが、今考えてみると何も心配することはなかったと思います。
★東京学芸大学2年 匿名さん

大学生である今しか経験できないことをたくさん経験できたので、参加して本当に良かったです。
★お茶の水女子大学2年 K.U.さん

このツアーでは勉強するだけでなく観光も楽しめました。ツアーメイトと楽しんだり、くつろいだりする時間もあり、1日1日が有意義でした。ここまで楽しくここまで勉強になるものだとは思っていませんでした。参加をするという決断をして良かったと思っています。
★静岡大学2年 匿名さん

今後の人生に間違いなく生きる経験と友人を得ることが出来ました。
★早稲田大学1年 I.R.さん

ただ旅行として訪れたのでは体験できない国々の良いところと問題点、それと比較した日本の良いところ、問題点を知ることができる大変有意義な時間でした。
★明治学院大学3年 S.T.さん

日本ではできない経験をたくさんし、学び、これからの生活にいかさなければいけないと思う旅でした。
★関西学院大学2年 Y.N.さん